

PAT-NO: JP404277958A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04277958 A

TITLE: PORTABLE TELEPHONE SET

PUBN-DATE: October 2, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
NAKAGAWA, SHIGEO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NAKAGAWA SHIGEO	N/A

APPL-NO: JP03065580

APPL-DATE: March 5, 1991

INT-CL (IPC): H04M001/02, H04B007/26, H04M001/17

US-CL-CURRENT: 379/185

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the portability of a telephone set and to keep a transmission part and a reception part cleanly by enabling a telephone set main body to be bent, and, forming a bent telephone set in ring shape.

CONSTITUTION: The neighborhood of the intermediate part of a portable telephone set at both terminals of which the transmission part 1 and the reception part 2 are comprised is linked so as to be bent by an inflection body 4. Both terminal parts of the telephone set are linked or neighbored, and a gap is formed between knob parts 5 and 6. Thereby, the telephone set can be carried by loading on the knob part of a bag, the wrist, or a belt shape material. By holding ring shape with a lock mechanism, the telephone set can be prevented from being stolen. Also, a dustproof function and a waterproof function can be obtained by adhering closely the aperture part of the transmission part 1 on that of the reception part 2, and also, which keeps the transmission part 1 and the reception part 2 cleanly.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio

(43)公開日 平成4年(1992)10月2日

技術表示箇所

(51) Int. Cl.³

H04M 1/02

H04B 7/26

H O 4 M 1/02

1/17

識別記号

片内整理番号

C 7341-5K

V 6942-5K

H 7341-5K

Z 7341-5K

F I

審査請求 未請求 請求項の数3(全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平3-65580

(22) 出願日

平成3年(1991)3月5日

(71) 出願人 391004517

中川 雄夫

兵庫県神戸市垂水区海岸通7-8 パール

シヤトー501号

(72) 発明者

中川 勝夫

神戸市垂水区海岸通り7-8 パールシヤ

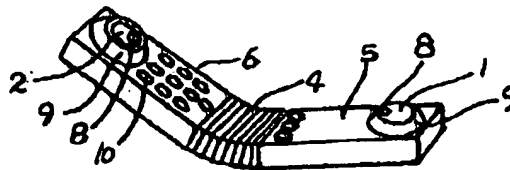
ト一501号

(54)【発明の名称】 携帯電話機

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、電話機の携帯性を高めるとともに、送話部分、受話部分を簡潔に保つことが可能なものである。

【構成】 電話機を中央部分で折曲げ可能として、両端の送話部分、受話部分付近を閉じてリング形状とし、又送話部分、受話部分の開口部どうしを密着させ同部分を清潔に保つ。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 両端付近に送話部分1と受話部分2が構成される携帯式電話機の中間部分付近は、軸3又は屈曲体4により折曲げ可能に連結されており、折曲げ時には、電話機の両端部分が連結又は開接され、取手部分5と6の間に空隙が形成されることを特徴とした携帯電話機。

【請求項2】 両端付近に送話部分1と受話部分2が構成される携帯式電話機の中間部分付近は、軸3又は屈曲体4により折曲げ可能に連結されており、折曲げた状態では、送話部分1と受話部分2の開口部どうしが対向して接触し、この状態で両開口部が外部に対して密閉されることを特徴とした携帯電話機。

【請求項3】 上記特許請求の範囲第1項と第2項が、同時に満たされることを特徴とした携帯電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、携帯式移動電話機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 携帯式電話機の形状は、近年著しく小形化が進んでおり、近い将来、日常生活に於いても電話機を所持して行動することが予想される。

【0003】

【発明が解決しようとする問題点】 電話機が小形化され、持運びが容易になると、電話機を置忘れる、落下させてしまう、収納した場所を忘れる、盗難に合う、等の実質的な問題が発生する。又、屋外での使用を考えると、送話部分1や受話部分2の防水性や、防塵性が求められ、更に、これらの口や耳にあてがわれる箇所は、衛生的に保たれる必要がある。本発明は、以上の問題を解決するものである。

【0004】

【課題を解決する為の手段】 電話機本体を折曲げ可能として、折曲げた電話機がリング状に形成される。電話機本体を折曲げ可能として、電話機の両端にある送話部分1と受話部分2の開口部どうしが密着する。

【0005】

【作用】 電話機を折畳んでリング状とすることで、電話機を、バッグの取手部分や、手首等々に装着して持運ぶことが可能になる。リング形状が、ロック機構により保持される場合、電話機を盗難から防ぐことができる。送話部分1と受話部分2の開口部を、向合わせて密着させることで、防塵、防水機能を持たせることが可能であり、又 同部分を清潔に保つことにもなる。

【0006】

【実施例】 第1図は、屈曲体4を曲げて、電話機の両端面7を連結させ、リング状に形成した例である。本例のように、円形に近いリング形状を構成させると、腕や手首に装着させることも可能になる。形成されるリング穴

が大きい場合、本例の様に端面7の間に多少の隙間が有っても、実用上問題はない。

【0007】 第2図は、第1図の電話機を伸長させたものである。第3図は、電話機を折曲げた際に、送話部分1と受話部分2が、密着するものである。本例では、特に電話機がリング部分には形成されてはいない。第4図は、リング部分が形成され、かつ送話部分1と受話部分2が密着するものである。本状態においても1と2の開口部は、密着パッキン9によりシールドされ、防塵防水構造となる。取手部分5と6により形成されるリング部分は、扁平な形状であるが、帯び状の物に対して電話機を固定したい場合これで十分である。

【0008】 第5図は、第4図の電話機を伸長させたものである。電話機に設けられている通話スイッチ8は、電話機を伸長させると同時に自動的にスイッチが入るよう構成できる。ボタン類10は、電話機収納時に摩擦等で損傷しない為、あまり凹凸を有さない形状のものが望ましい。電話機が収納状態にある場合、ボタン類10は当然キー入力を受け付けない。

【0009】 第6図は、送話部分1を、電話機から引伸し可能とした例である。電話機の形状が非常に小形なものとなり、電話機を伸長させても、送話部分1と受話部分2の間隔が、耳と口の間隔に達しない場合、本例のように構成すると効果がある。第7図は、電話機より構成されるリング部分が、常に挟みつける圧力を有するよう構成した例であり、取手部分5と6の両サイドに柔軟な弾性枠を設けることにより、電話機を閉じることで形成される空隙が、弾性枠で覆われてしまうものである。第8図は、第7図の構成の電話機を帯び状の被取付け体に取り付けた例であり、弾性枠が被取付け体の形状に沿って変形し、これを挟みつけることで位置が固定される。本例の場合、上述のように電話機を閉じることで形成される空隙が、弾性枠で覆われるので、プッシュボタン部分等が汚れたり、又被取付け体とプッシュボタン部分が摩擦で損傷するのを防ぐ効果がある。同様の作用を与える方法として、軸3または屈曲体4を中心としてリングが閉じようとする力で、被取付け体を保持する等々各種考えられる。

【0010】

【発明の効果】 以上説明の通り、本発明電話機によれば、電話機を折畳んでリング状とすることで、電話機を、バッグの取手部分や、手首等々に装着して持運ぶことが可能である。リング形状が、ロック機構により保持される場合、電話機を盗難から防ぐことができ、第三者が自由に電話機を利用することができなくなる。

【0011】 送話部分1と受話部分2の開口部を、向合わせて密着させることで、防塵、防水機能を持たせることが可能であり、又 同部分を清潔に保つことにもなる。

【図面の簡単な説明】



(3)

4

3

- 【図1】 折り曲げられた状態の本電話機の斜視図
 【図2】 伸長された状態の本電話機の斜視図
 【図3】 折り曲げられた状態の本電話機の側面図
 【図4】 折り曲げられた状態の本電話機の側面図
 【図5】 伸長された状態の本電話機の斜視図
 【図6】 伸長された状態の本電話機の斜視図
 【図7】 伸長された状態の本電話機の斜視図
 【図8】 折り曲げられた状態の本電話機の斜視図

【符号の説明】

1 送話部分

2 受話部分

3 軸

4 屈曲体

5 取手部分

6 取手部分

7 電話機両端面

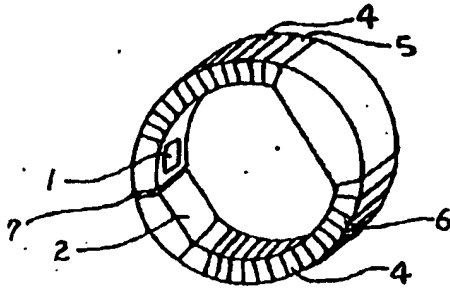
8 通話スイッチ

9 密着パッキング

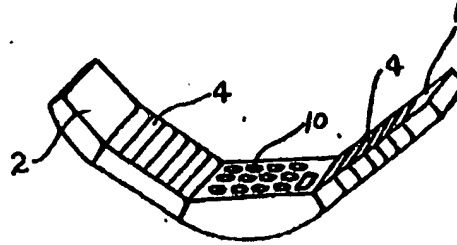
10 ボタン類

10

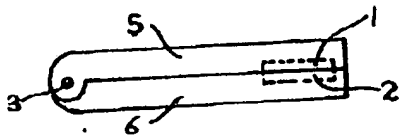
【図1】



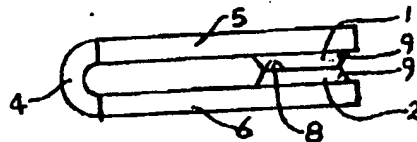
【図2】



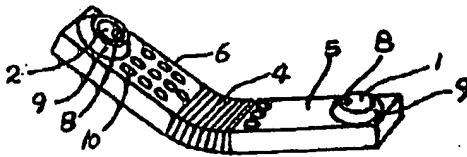
【図3】



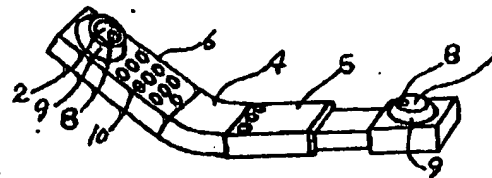
【図4】



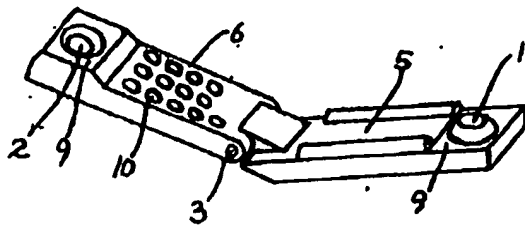
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

